

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月 31日
3. 業務の範囲	(1) 南姫公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 南姫公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点		採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P186(利用率) 【利用率(全体)】 17.3% 【利用率(部屋別)】 大ホール:19.5% 研修室1:23.1% 研修室2:24.3% 和室1:11.6% 和室2:11.5% 料理実習室:2.4%	4点	新型コロナウイルス対応 一律4点)	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点					
			②利用人数	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P187(利用人数) 【利用人数(全体)】 16,377人 (R1)38,839人 【利用人数(部屋別)】 大ホール:6,260人 研修室1:3,382人 研修室2:3,109人 和室1:1,683人 和室2:1,755人 料理実習室:188人	4点	新型コロナウイルス対応 一律4点)	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)		15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	①公民館まつり ・南姫公民館文化祭 展示部門 ステージ部門合同文化祭(ウォーキングは中止) 324人 ②親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業の取り組み ・星空観望会 5組15名 ・南姫小3年生まち探検 30人 ・南姫小2年生生活科授業 30人 多治見市連携事業及び地域意識醸成事業は新型コロナウイルス感染防止策の為中止	仕様書以上 13点	・文化祭は、アンケート調査で各方面の意見を聴取し、展示部門・ステージ部門合同展示文化祭として開催。利用団体の紹介やハロウィン撮影コーナーなどを設置し、趣向を凝らし開催された。例年に比べ縮小したが、文書と窓口での説明のみで進行することができるなど、チームワークを大いに発揮することができた。南姫中学校の中堅教諭等資質向上研修を受け入れ、設営に参加してもらい、多角的な交流ができた。コロナ禍だからできる新しい文化祭となった。 ・コロナ禍で休校となった小学生の公民館見学は、延期しながら年度末に開催された。見学を承諾いただいた団体は、子ども達を快く受け入れ、楽しく濃い見学会を行うことが出来た。	13点						
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る2~0点	年次報告書P190~197事業の企画・運営・実施一覧) ①スローライフ・スローフード事業・オーガニックライフを満喫しよう (じゃがいもを育てよう、秋冬野菜を育てよう、玉ねぎを育てよう、自由菜園、日曜朝市、伝承料理講座) 各講座2回以上開催 416名参加 ②夏休み子ども教室 3教室 中止 ③まち歩きウォーキング(ひめちゃんウォーキング)7人 ③Withコロナ時代に役立つ防災講座 1回 18人 ひめの朝時間(体操・囲碁将棋) 各43回 945人 ④シニアの知的好奇心を刺激する古典講座 日本の神話古事記 9回 363人 万葉講座水・金コース 24回 410人 ④コンサート キラキラクリスマスコンサート 1回 70人 ⑤回境の世代サポート事業 みんなイキイキ ふうた広場 11回 289人 Season4もっとスマホしましょ! 3回 28人 ⑨ギャラリー姫 11回 2,004人	期待以上 12点	・事業が中止や延期となる中、開放的な交流ができないか模索し取り組まれた。 ・スローライフ事業は農園の環境を整える取り組みを行い、利用者を30%以上の増加に繋げ、空き区画がなくなる人気となった。更に人数の増加に伴うトラブルを事前に回避するために区画の見直しや貯水設備・残渣処理設備の環境も整えた。 ・ひめの朝時間の体操部門は、市政80周年記念の瓢箪を自宅で作り、文化祭で飾る企画を行った。更に、外出が心配な方に向け、自宅で体操できるようホームページ上に「リモート朝時間」のコーナーを作り、いつでもどこでも体操ができるよう企画した。ホームページにすぐアクセスできる名刺型のQRコードを活用、アクセス数が従来の2倍以上に増え運用している。 ・古典講座は、大ホールに移動し再開。高出席率で満足度の高い講座が運営された。 ・歌の講座は慎重を期し、10月から再開。講師の指導による望ましい型のマスクを受講者に着用していただき、密の回避や換気を徹底し実施された。	12点						
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P198(維持管理業務) 施設内清掃(基準・毎日)を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・仕様書に定める回数特別清掃年1回の他、業者による剪定作業・ボランティアによる除草作業を実施。	10点						
			②保守・点検			年次報告書P198(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準・年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・法定点検の他日常点検、公共施設点検マニュアルに沿った点検も行っている。							
			③保安・警備			年次報告書P198(維持管理業務) 機械警備業務を委託して実施(毎日)管理は㈱セクテックに業務委託	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・警備業者を安価で安心できる業者に変更した。							
			④小規模修繕			年次報告書P199 ①建物正面側網戸調整16,500 ②屋外地流し給水配管工事69,300 ③機械室ドア6,600 ④ガス給湯器のメーター機と自動切替器の交換 98,120 ⑤大ホール会議テーブル10台 380,600 ⑥デスクトップパソコン1台99,880 ⑦駐車場整備工事33,000⑧大ホール会議テーブル10台 380,600 ・小規模修繕 全8件 総額 1,084,600円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・修繕が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。 ・屋外地流し給水配管工事は現状の復帰をする和高額になる為、市と協議し機能を損なうことなく安価に修理した。 ・感染症対策として利用の増えた大ホールの机を軽量で安全かつ機能的なものに変更した。							
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P199 ・公共施設点検講習会の指導に基づき月2回と年2回の点検を行っている。 ・朝夕2回の見回りをを行い、異常の発見に努めている。 ・不自然な箇所の注意喚起を行っている。 ・台風や大雨、積雪などの際の緊急点検も行っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・週に1回の点検の他に日常点検を行い、スズメ蜂の駆除、調理室のガス漏れ警報器誤作動への対応等実施。							

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況（15点）	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する （期待以上：3点、適正（普通）：2点、一部不備あり：1点、不備あり：0点） ②5項目の合計点とする。	年次報告書P200 ・多治見市のファイリング基準法に従い文書を鍵のかかるキャビネットで保管し職員共有のルールで適切に保管運用している。 ・電子データはパソコン内でブロックに分けお客様を待たせることなく利用できる機能性と正確さを備え運用している。	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P200 ・計画的に剪定計画を立て危険個所の保全と樹木を伐採し御嶽山の景観を確保した。 ・1,700坪の敷地の管理はボランティアや地域の施設と連携を取り適切に管理している。 ・建付けの悪くなった網戸を修理し、自然の風を取り入れた。 ・敷地外清掃を行い、中学生や散歩の方が安全に歩行できるよう配慮した。 ・敷地内に生息しているヒトツバダコの新芽を、ゴーヤの苗配布時に希望者に配布した。	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P200 ・コロナ対策として足踏み式消毒液を設置したが、足の弱っている方は片足で利用できないことが解り、自動の消毒ポンプを主流と対応。 ・図書の蔵書点検の際、障がい者施設の利用もある為施設の方々が戸惑わないよう配慮し配置を行った。 ・地域の2か所の授産施設（陶芸学園、東濃さつき会）との連携を取り、公民館行事への参加を積極的に働きかけ、ご利用に不便をおかけしないよう配慮している。	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P200 ・朝夕の見回りの際、戸締りと共に備品の保全も目視点検している。 ・煩雑な備品をひと目でチェックや片付けができるよう、写真やチェックシートを利用し、安全清潔に管理している。 ・不備や破損を発見した場合は即座に仕様書に基づき管理している。	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P201 ・個人情報を含む問合せや伝言は、慎重にその都度詳細を確認している。 ・個人情報記載資料は鍵のかかるキャビネットに保管し、電子データは必要以上に作成しない。 ・受講者の写真掲載は事前に了承いただき掲載。	適正（普通） 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする（事故なし及び事故等の対応に不備なし：0点、事故等対応に不備あり：△1点）	・事故はなし。	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上：5点、105%未満～100%：4点、100%未満：3点	22,176,330÷22,970,914＝96.5%	100%未満 3点		3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映（15点）	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上：10～8点、適正（普通）：7～5点、不備あり：4～1点	年次報告書P202 ・アンケートBOXを常時設置し、講座終了時にはアンケートを実施している。 ・スローライフ事業が盛り上がり、菜っば会新規の区画を整備する際旧区画も見直してほしいというご意見があり再測量した。その際、他にも大人数に対応できる環境を整えた。（残渣処理施設、貯水タンク） ・スローライフ事業開催日の天候不順の際問い合わせが多い事から、連絡手段を新規に開設、Gメール登録を行い簡潔な連絡手段を試行した。 ・感染症対策の定員制限により大ホールの利用が多くなり、机が重くて危ないというご意見をいただき、机の損傷も見受けられたので、買い替えを行った。 ・ホームページ上新設のひめの朝時間や菜っば会通信特設への誘導に当たり、ホームページへの見方がわからないというご意見を頂き、QRコードで直接アクセスできるように工夫した。 ・2年間のシリーズで始まった「古事記」が終盤に差し掛かり、次回のシリーズを乞う声が高まり講師に依頼、「平家物語」を準備した。 ・コロナ禍において活動を自粛される方が多い中、感染防止策を取りながら、活動を広げたいという方には、惜しみない支援を行った。	期待以上 8点	・アンケートにより利用者のニーズを把握し、多種多様な事業展開がされている。 ・状況判断から、農園の設営管理を行い、トラブルを回避している。 ・連絡手段など新しい取り組みを行っている。 ・「古事記」の講座については、参加者からの要望を受け新シリーズである「平家物語」を開講予定とした。 ・活発に活動が続けたいという団体には、体験教室などの支援を行った。	8点
		②苦情対応	5	期待以上：5点、適正（普通）：4点、不備あり：3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	適正に実施されている。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント（15点）	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント（アピール）が 期待以上：15～12点、適正（普通）：11～9点、普通未満～物足りない：8～0点	①ポストコロナを念頭に置き、施設や職員、利用者がリモート環境に適応できるスキルを獲得できるよう、徐々に無理なく進めていく計画をたて開始した。 ＊ホームページ内特設コーナー設置「リモートあさ時間」「菜っば会通信」 ＊QRコード活用（天候不順連絡・ホームページアクセス時・申込書等） ＊現地に行かない観光案内のデモンストレーション他 ＊職員研修として ②スローライフ事業への誘導に成功し、171組、235区画という従来より30%増の稼働とした。2年度中止となった「おうち薬膳」の講座の食材の準備を開始した。 ③施設利用が減少する中、希望する団体への支援を行った。 ・高齢化により和室にカーベットを敷き椅子の使用で利用を改善し快適に運用した。利用の定員が半数となり、大ホールへの移行が必須となり、備品である机の買い替えを行い安全に運用した。 ④ポストコロナの施設管理として1.館内設置のロスナイを必ず起動2.事前の利用者名簿の提出3.利用の際消毒セットをお渡しし使用済みペーパーは所定のごみ箱へ4.講座内においてのお茶やお菓子の提供の廃止5.窓口でペットボトルのお茶を販売6.非接触型体温計と自動消毒ポンプの設置など、どなたにもストレスのかかりにくい、安全な防止策を整備した。	期待以上 12点	・時代に即したより良い環境作りを行い、安心安全を最優先にした施設管理を行っている。 ・今だからできる事に挑戦し、ホームページ上での動画配信や地域の特色を活かした農園を広報し、定員を越す注目度となるなど「公民館を取り巻く全ての活動の元気を応援」している。 ・スローライフ事業の連絡手段としては特設メールを導入、今後は公式ラインの活用も視野に入れ運営を開始している。 ・スローライフ事業への誘導として、コロナ禍で閉じこもりがちな生活を払拭するための広報を行った結果、反響があり、空気がない状態となっ区画の整理や残渣処理施設の見直しなども行いスムーズな運営へとマネージメントした。更に講座の地産地消の為の準備を始め新しい農園作りに挑戦している。 ・ストレスのかからない感染症との取り組みが行われている。	12点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする（遅れ・不備内容の程度により△1～△3点） 一部遅れ・不備あり(軽微)：△1、一部遅れ・不備あり(中程度)：△2、一部遅れ・不備あり(それ以下)：△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応（報告書類の提出以外）等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする（対応等の内容により△1～△3点） 指示等なし・対応等が期待どおり：減点なし、対応等が期待以下(軽微)：△1、対応等が期待以下(中程度)：△2、対応等が期待以下(それ以下)：△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計			##	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ・目玉事業であるスローライフ事業、万葉・古典講座、ひめの朝時間をデジタル化を導入するなど、コロナ禍でもできること、コロナ禍だからできることを模索し継続実施されている。 ・利用者の意見や要望に真摯に対応し、地域等との共催事業が活発に行われた。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	合計81点
								良好	